

宮城県蒲沢鉾山周辺地域の含チタン砂鉄鉾床概査報告

谷 正巳 齋藤 洋彦

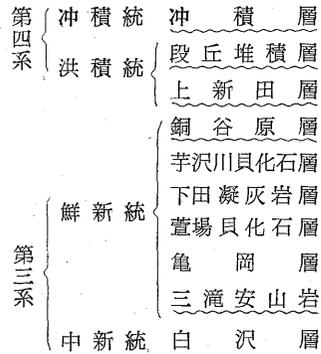
筆者らは、未利用鉄資源開発調査の一環として、宮城県宮城郡大沢村地内蒲沢鉾山周辺地域の概査を実施した。

これらの各層の特徴および化石について記載した。

砂鉄鉾床は、下田凝灰岩層中に挟在する偽層砂岩中に胚胎する。この偽層砂岩層の分布は下田凝灰岩層が広範囲に分布するのに対し、はるかに限定された小範囲にとどまっている。

これら砂鉄層の規模等は下表の通りである。

本地域の層序区分



地域名	下田凝灰岩層 (m)	含砂鉄砂岩層 (m)	砂鉄の厚さ (m)	Fe (%)	TiO <sub>2</sub> (%)	備考
大堤沢	17.0	(3.0)	0.3	10.0	—	見込品位
蒲沢鉾山北方山道	27.0	(2.0)	1.0	8.0	—	"
おごき沢	27.0	(12.0)	1.5	6.26	0.70	鉾山資料
蒲沢鉾山稼行鉾床	約 30.0	(17.0)	2.0	25.14	27.96	"
蒲沢鉾山未稼行露頭	37.0	(7.0)	2.6	29.95	21.87	"
銅谷原沢	55.0	(9.0)	1.5	15.0	5.0	見込品位
栗生沢	26.0	(8.0)	—	10.0	—	"
広瀬川	53.0	—	—	—	—	"

(抄録：岸本)